

関門港湾建設株式会社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SDGsへの取組

海洋土木の専門業者として社会の信頼と品質の確保を目指し、社会に貢献するため品質マネジメントシステムを構築実行し継続的に改善を行います。

また、環境保全は企業の社会的責任であることを認識し、建設活動及び関連する業務において環境汚染の予防や自然生態系の保護を実施し、環境負荷の低減に取り組みます。

人権・労働

- ・ 国籍、性別を問わない採用促進
- ・ 働きやすい環境整備
- ・ より安全な職場環境を整備
- ・ 適材適所の人員配置、人材育成
- ・ ISO9001の認証取得と改善継続による向上
- ・ 労働安全衛生マネジメントシステムの構築と継続



環境

- ・ 海洋環境保護のための対策
- ・ 機械設備に環境対策を積極的に採用
- ・ 環境保全のために環境マネジメントシステムの構築、継続的な改善 (ISO14001の認証取得)
- ・ 作業環境に応じて危険・有害要因の排除と低減を図る効果的な安全衛生管理活動の推進
- ・ 自主的なリスクアセスメントを実践し、危険・有害要因の排除と低減
- ・ 建設機械を適切に扱い、無駄なエネルギー資源の消費及び排気ガスの発生を防ぐ等環境負荷を軽減
- ・ 法規制及び当社が同意する環境に関するその他の要求事項を順守



社会貢献・地域貢献

- ・ 現場見学会、インターンシップの実施
- ・ 地元根付いた社会貢献活動に参加
- ・ 地元人材の採用、地元企業の優先発注
- ・ 文化振興ボランティアへの参加
- ・ 地産物の積極的な消費



SDGsとはSustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を17の目標と169のターゲットに整理したもの(2015年9月に国連で採択)。2030年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGsを実現するための役割を担っている。

みなとSDGsパートナー登録制度に登録されました



みなとSDGsパートナー登録制度は、国土交通省港湾局が「みなと」をフィールドとして事業を展開する企業等を対象とする登録制度として創設したものです。

港湾関連企業等が行う事業活動等の取組とSDGsの関連性について「気づき」を促すとともに、その取組を「見える化」することにより、SDGsの普及促進と取組の更なる推進を図り、ひいては我が国港湾及び港湾関係産業の魅力向上と将来にわたる持続的な発展に資することを目的としています。

当社は、第一回登録(令和4年9月)にて、「みなとSDGsパートナー」として登録されました。

現在、当社では、みなとSDGsの取り組みの一環として、浚渫作業で発生する軟弱浚渫土の有効活用にフォーカスし、カルシア改質土を利用した施工方法の技術開発・工事実施に注力しています。

カルシア改質土とは、製鉄の過程で発生する副産物の転炉系製鋼スラグを成分管理・粒度調整したカルシア改質材と軟弱な浚渫土を混合したもので、強度改善、水中投入時の濁り抑制、リンや硫化物の溶出抑制等の効果があります。

当社では、こうした取り組みを通じ、持続可能な社会への更なる貢献と企業価値向上に努めてまいります。

3側面	SDGs達成に向けた取組	2030年に向けた指標
環境 経済	カルシア改質土を利用した浚渫土の有効活用の推奨。	カルシア改質土施工数量 【現状】25,000m ³ (2021年度実績) 【目標】200,000m ³
社会 経済	合理的、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	1日当たりの月平均時間外労働時間 【現状】22時間 【目標】20時間

[「みなとSDGsパートナー登録制度」について](#)

[カルシア改質土について](#)

[カルシア落下混合船「オーシャン3号」について](#)